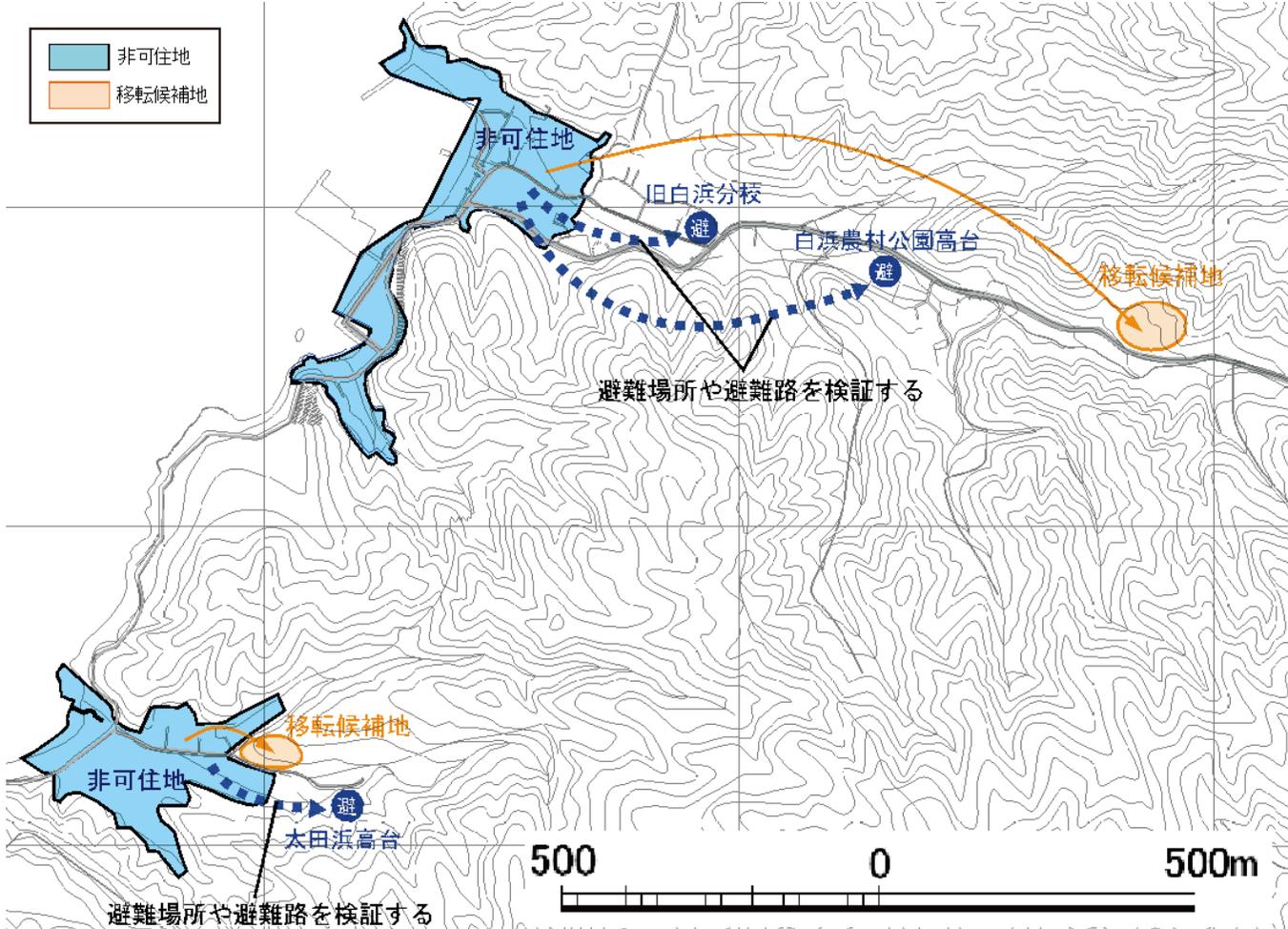


■ 白浜・太田浜地区の復興パターン案について

<p>被害の状況</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 白浜は、浸水面積は 12.7ha、浸水高は TP+5.7~12m、最大浸水深が 10mに達した。</li> <li>・ 太田浜は、浸水面積は 5.3ha、浸水高は TP+10m、最大浸水深が 6.5mに達した。</li> <li>・ 浸水区域内の建物（住宅以外も含む）は白浜で 63.5%、太田浜で 55.6%が流失または撤去となる被害を受けた。</li> </ul>
<p>復興まちづくりの考え方</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 住む場所は津波被害を受けない安全な場所に確保する。</li> <li>・ 津波到来時も背後の高台への避難を円滑に行えるよう、避難場所や避難路を検証の上、必要に応じ強化・充実を図る。</li> </ul>
<p>復興パターン案</p>	<p>今回の浸水区域のうち、危険な区域を非可住地とし、住宅を背後の高台へ移転</p>  <p>イメージ図</p>
<p>特徴</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 住み慣れた場所に近いところへの移転を行う。</li> <li>・ 非可住地であっても漁業施設用地としての活用はできるが、住む場所と働く場所が分離することになる。</li> </ul>